



第25回 日本視機能看護学会会員情報交換会



【テーマ】 緑内障患者さんの点眼アドヒアランスについて

～看護アセスメントを点眼アドヒアランス改善に活かす～

【日 時】 2025年2月22日(土) 14:00～15:30 (質疑応答含む)

【講 師】 松尾 和枝先生 (九州大学大学院医学研究院保健学部門 講師)

【アドバイザー】 大音清香 (日本視機能看護学会名誉理事長)

【参加人数】 15施設 (20名日本視機能看護学会役員含む)

【報告】

今回初めての点眼アドヒアランスというテーマで教育セミナーを開催いたしました。

ご講演では、松尾先生が取り組まれた POAG 患者の点眼アドヒアランス向上を目指した介入研究と POAG 患者の点眼治療中断理由の質的探究結果についてご紹介して頂き、点眼アドヒアランスにおける看護のアセスメントの重要性をあらためて認識いたしました。点眼継続を目的とした主な先行研修では、1 点眼薬剤の改良、2 患者の点眼手技を高める、3 疾病や治療薬に対する知識を高める、4 点眼確認あるいは促すための関わりが報告されている事など、エビデンスに基づいた点眼アドヒアランスの現状について学ぶことができました。松尾先生が研究をすすめられた中での今後の課題のご認識について、短時間で、その患者の看護問題を特定し、適切な看護支援を行えるようなアセスメントツールが必要ではないかという事、さらに、看護支援の標準化につなげることが可能ではという問題定義とともに、当学会としての今後の展望につながる御教授を頂き、参加の皆様からもそのご発言に対して賛同するご意見がありました。視機能看護において点眼アドヒアランスの向上に向けた看護介入は大変重要な課題でもあり、今後改善していきたい内容でもある事から、ワーキンググループなどを作っていく事ができればという発案もあり、今後会員の皆様のご協力とともに検討していきたいと考えております。このセミナーをきっかけとし、今回ご参加がかなわなかった皆様も含めて、情報発信をしていきますので、ぜひご協力頂ければと思います。

大変有意義なセミナー交流会となりました事、講師の松尾先生をはじめ参加して下さったかたの情報交換があつての事と思います。今後ともセミナー交流会へのたくさんの皆様のご参加をお待ちしております。